

【「2021学生企画プロジェクト」 成果報告】

企 画：湘南ひらつかキャンパスモザイクアートプロジェクト

団 体 名：Cherry Blossom

代 表：縄田 幹

メンバー：今 桃江、峰ゆきの、平川直弥

1. 企画の背景

2021年4月から経営学部は湘南ひらつかキャンパス（以下SHC）から、みなとみらいキャンパス（以下MMC）へと移転した。そして2023年4月には、現在通っている理学部も横浜キャンパスへと移り、SHCは学生に使われなくなってしまう。私たちメンバーもSHCには3年間在籍し（うち1年間はコロナ下でリモートとなってしまった）リアルにSHCに通学した経験があること、また平成元年から現在までの32年間SHCが存在した事実とキャンパスに対する感謝は今後も継承されていくべきであると考え、SHCにゆかりのある写真を在学学生、卒業生から募り、モザイクアートを制作し、SHCの記憶を形に残していくプロジェクトを立ちあげた。

モザイクアートのテーマは「桜」の木である。桜の木をモザイクアートの写真に選んだ理由は、MMC正面に植樹されたオオシマザクラとソメイヨシノにある（右の写真）。この2本の木はSHCからMMCに移植されたものである。オオシマザクラはSHCの11号館の傍で、ソメイヨシノは経営・理学部第1・2期生による卒業記念樹として1994年からSHCの学生の成長を見守ってきた木々たちである。これら桜の木をテーマにした企画を遂行することで経営学部がSHCからMMCへと移転した時代のなかで歴史的な繋がりを強く表現できるのではないかと考えた。



2. 企画の概要

① SHCにまつわる写真の募集

学内（在学生・大学教職員）・学外（卒業生・宮陵会）からSHCにまつわる思い出の写真を特設Instagramアカウントのダイレクトメッセージ、Google form、Gmailにて募集した。集められた写真はInstagramアカウントにて随時掲載した。なおInstagramでもっとも「いいね」を集めた写真は以下となっているが、ごはん系の写真は「いいね」が多い傾向にあった。



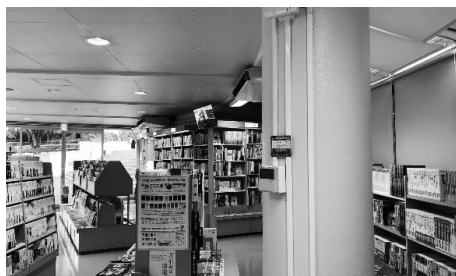
この企画の宣伝は学園祭（みなとみらい祭）のホームページ、神奈川大学同窓会組織である宮陵会の広報誌「Kyu-Ryo」No.113（2021年12月発行）ならびに宮陵会ホームページへの掲載を依頼した。（写真右）



②メンバーによるSHC取材

メンバー4人でSHCに赴き、キャンパス内の様々な個所を撮影した。また、GoProを用いて自分目線での動画撮影を行った。

取材で撮った写真の枚数：1,047枚



③寄せられた写真および取材活動による写真ギャラリー

以下はご応募いただいた写真およびメンバーが取材した際の写真の一例をいくつか抜粋した。





④ 成果物の発表

集まった写真をフリーアプリ「Mosaic」にてモザイクアートにした。この写真をパネルにして学内に掲示依頼した。



3. プロジェクトを通して

この活動を通じていずれ卒業する私たちをはじめ、SHCで学んだ全ての人が、キャンパスを離れても「懐かしい」と思える心の拠り所＝「帰る場所」を創ることができたのではないかと考えている。私たちは大学生活の3年間をSHCで、1年間をMMCで過ごした。SHCに慣れ親しみ、みなとみらいでの新しいキャンパスライフを送った私たちの世代がこのプロジェクトを遂行することができたことは意味のあることだったといえる。

謝辞

この企画にご協力いただいた学内の方々、宮陵会の方々に御礼申し上げます。また、本プロジェクト活動を「学生企画プロジェクト」に採択していただいた神奈川大学国際経営学会にも厚く御礼申し上げます。